

講義中心

プログラム番号 3002E

伝わるテクニックとしてのデザイン ーレイアウト編ー

NEW!

■講師

徳田 明仁（愛媛大学 広報室 副室長、ミュージアム 准教授、
大阪大学 総合学術博物館 招聘准教授）

平成 10 年 3 月多摩美術大学美術学部デザイン科卒、民間企業デザイナーを経てデザイン事務所を設立。平成 20 年 11 月より愛媛大学ミュージアム准教授、平成 27 年度より大阪大学総合学術博物館招聘准教授を兼務。平成 30 年度より愛媛大学広報室副室長を兼任。大学広報副学長のもと、大学全体の広報・ブランディングから情報発信拠点であるミュージアムの展示・運営まで幅広く担当。

■プログラム概要

誰かに何かを伝えるには、きちんと整理して見せる必要があります。それが正しく伝わる最善の方法だからです。デザインとは情報を整理して、正確に、わかりやすく視覚化することです。メッセージを載せて相手に届け、目的の行動をしてもらうように背中を押すことがデザインの役割です。そして、情報をより効果的に伝えるためには、情報の受け手をよく理解することが欠かせません。性別や世代、地域や嗜好など、どのようなターゲット層に向けて情報を発信するかによって、表現方法を変える必要があります。デザインの役割を理解し、受け手に合わせた最適な表現をすれば、伝わる資料・わかりやすい紙面に近づいていきます。

この研修では、講義形式にて、レイアウトという作業に主軸をおき、文字や文章、色や図表など主要な構成要素に関するデザインルールやそれらの組み合わせのためのレイアウトルールを紹介します。それぞれの素材の役割を意識しつつ、メッセージを伝える最善なテクニックを選び、的確に使うことができるよう習得頂けたらと思います。

■主な受講対象

デザインテクニックに関心のある教職員。

■本プログラムの到達目標

1. デザインルールを具体的に説明できる。
2. 自信を持ってレイアウトデザインをつくることができる。
3. メッセージを伝えるテクニックを選び、使うことができる。

■日時・場所

日時：令和元年 8 月 30 日（金）13：00～15：00

場所：愛媛大学城北キャンパス